

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2023年2月5日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃 美 歌 54「喜 び の 日 よ」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃 美 歌 338「主よおわりまで」	一 同
教会学校	紙 芝 居「友 だ ち の 裏 切 り」	牧 師
讃 美	讃 美 歌 239「さまよう人々」	一 同
聖書朗読	マタイ27:1-10	
奨 励	使徒行伝の福音(第5回)	牧 師
主 題	「絶望の淵に立つ時」	
讃 美	讃 美 歌 243「ああ主のひとみ」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃 美 歌 546「聖なるかな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝 1:21-26	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

2/5(日)聖日礼拝
/6(月)
/7(火)
/8(水)10-12:00BS75
/9(木)(祈会は休みます)
/10(金)
/11(土)《宗教の自由を守る日》
13:子供オプンハウス



《祈りの課題》

- ① コロナ禍の速やかな終息のために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「劣等生である権利」

(ジャン・パニエ著「共同体と成長」より)

私は以前から『劣等生である権利』という本を書きたいと願っていた。もっと正確にいうと、『自分自身である権利』というタイトルになるかも知れない。共同生活の大きな問題の一つは、時々メンバーの人々に、彼ら自身ではないような者になることを強制することではなからうか？人々に自分達の理想像を押しつけ、それに順応することを要求するのである。押しつけられた者は、この理想像に到達できないと、愛されないと思ったり、人々を失望させてしまうと心配したりする。しかし、共同体は完全な者の集まりではない。それは互いに関わり結ばれた人々の集まりであり、一人一人は善と悪、光と闇、愛と憎しみを合わせ持っている。その中で、共同体は一人一人が恐れなく、自分の内に秘められた愛の力を解放し、成長することのできる唯一の大地なのである。しかし、成長の可能性を認める場合にのみ、このことが可能になる。私たちの内には、浄められねばならない多くのものがあり、闇は光に恐れは信頼に変えられなければならない。

共同生活においては、人々に過大な要求を課するということもよくある。その結果、人々はあるがままの自分を発見してこれを受け入れることができなくなってしまう。事ある毎にすぐ人を評価し分類するので、人々は仮面の下に自分を隠さざるを得ない思いになる。しかし、人には劣等生である権利があり、その心の内に暗い面や、嫉妬、憎しみさえ抱いている権利がある。これらの嫉妬や不安はごく自然なものであり、何ら「恥ずべき病」ではない。それらは、私たちの傷ついた人間性の一部であり、これが私たちの現実なのである。これを受け入れ、ドラマ化しないでこれと共に生きることを学ばねばならないし、ゆるされていることを見出しつつ、解放に向かって歩んで行かねばならない。共同体の人々の中には、自分があるべき自分ではないと感じ、無意識の罪悪感をもって生活している人達がいるように思われる。こういう人達は、自信を与え、自他を信頼するよう励ます必要がある。弱さでさえも拒絶されることなく、共に分かち合うことができることを、肌で感じるようでなければならない。